

COOP-JOSO News Letter

2020年3月2回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

生協利用・共有資材購入の為の増資ご協力のお願い!! サービス向上、生協基盤強化の為の出資金増資、 あと1品プラス利用、資材を大切に使いましょう!

(出資金とは)

生協は、組合員で出しあった出資金を元に運営を行う組織です。生協と名の付く団体はたくさんありますが、それぞれが独立した組織として運営されています。出資金は、原則として、生協を脱退するときに全額返還されます。出資金は、単なる生協の利用料ではなく、生協を運営するために一時的に預けるお金なので、脱退される時に返還しています。

(増資とは)

増資とは後から出資金を増やす事を言います。通常の任意増資は注文用紙の任意増資欄に何も記載が無ければ100円の増資になります。記入欄に【99】と記載されると増資しないという事になり、増やしたい場合は1口100円単位で数字を記入すれば増資されます。生協の基盤を少しずつでも強くしていくために、多くの組合員が増資に取り組んでいます。組合員の出資金を原資に配達する箱や、コンテナの定期的な購入、トラックなどの高額な資材購入時にも役立っています。

(現在資材の購入を検討しています)

毎週組合員にお届けする箱、コンテナには食べものをセットすることからひどく汚れているものは洗浄していますが、劣化等によりどうしても

も定期的な購入が必要です。

箱の資材(原料)も年々高騰しており、色々検討していますが、今までは一種類のサイズで箱や、コンテナを購入していましたが、業務の見直し、組合員サービスも含めてハーフサイズの箱や、コンテナの購入も検討しています。

ハーフサイズの箱、コンテナを導入することで商品仕分けをしている現場職員や、供給担当の荷台での作業の効率も格段に上がり、保冷やお届けの観点から商品の大きさ、量によってサイズを分けてお届けできるので、サービス向上につながると考えます。

一方でプラスチック問題もありますので、「ドライ品や、冷蔵品に使っているビニール袋も減らせないか？」についても検討しています。お届けに使用している箱、コンテナは組合の共有資材です。大切に保管していただく様、お願いと同時に、資材の変更も含めてご意見を頂きたいと考えます。

変更するためにはコスト(経費)がかかります。生協利用、出資、組合員紹介(仲間づくり)への協力を集めて、生協の事業・運営基盤を高めていきたいと思ひます。

よろしくお願い致します。

(専務理事 伊藤博久)

○経緯の説明

岩瀬牧場のお肉の取り扱い、1995年にお肉屋さんのミートパル村山さん（精肉加工）からのご紹介で始まりました。今日では極めてまれな飼料を自給する養豚や、豚の肥育環境・手法に感動し、お付き合いがスタートしました。

豚（肉）は【岩瀬牧場⇒ミートパル村山⇒常総生協】という流れで、当時、岩瀬牧場と常総生協は直接的な関係を持ててはいませんでした。

お付き合いを続ける中で、2014年12月にミートパル村山さんより、岩瀬弘さん（現代表のお父さん）の体調が思わしくない事と牧場事業が厳しいお話を伺いました。生協内の議論を経て、生産者支援基金より支援金を出し、2015年1月より岩瀬牧場に常総生協の職員が出向する事になりました。この間は実際に肥育頭数の減少などもあり、組合員みなさまにも休止等ご協力を頂いた事もあります。

2015年5月に前代表（岩瀬弘さん）が亡くなり、娘の卓子さんが引継ぎながら牧場を運営してきましたが、2017年に後継者課題も含めて常総生協の子会社（わんぱくじょうそう合同会社。以下、わんぱくじょうそう）の養豚部門として再スタートを切りました。



○わんぱくじょうそう合同会社として再スタート

再スタートにあたり「前代表が理想とした豚を作りたい」という思いから、生協からは種豚の購入を支援し理想の豚を作り上げて肥育頭数を倍にしていく事に、現場を見守りながら経営実務も含めて応援してきました。実際、養豚の現場や養豚業独特の経営・会計実務は初めてで、戸惑いながらも現状把握と計画立案のサポートをしてきました。一緒に現場に入る以前の20年間はミートパル村山さんと生協とのやり取りだけでしたので、生産経費がどのくらいかかるかなど初めて知ること多かつたのも事実です。

実績としては、2015年と比べて肥育頭数は倍になり、出荷頭数も安定してきました。また、前代表が理想としていた豚もできるように

↓ 2017年4月2回NewsLetter

COOP-JOSO News Letter

2017.3.27

常総生活協同組合 発行 / 年報三巻

岩瀬牧場 + 常総生協 = 協同の法人化

協同の自給牧場(農場)

をはじめます。「産直・提携」から生産・加工・消費までの協同自給農場への取り組みを！

— 3/19、資産を持ち寄って合同会社での養豚継続へ調印 —

3月19日、(生産者)岩瀬牧場と(消費者)常総生協が共に出席し資産を持ち寄り、肉の加工処理をしてくれるミートパル村山さん(立会いの下で新しい協同の合同会社で養豚を継続する契約が結ばれました。

岩瀬弘さんが亡くなって2年。あとを継いだ卓子さんを応援しようと、種豚と出荷しながら牧場の継続を模索してきましたが、お父さんの夢を継いで養豚業をやりたいという卓子さんの思いと、消費者がもっと主体的に生命の生産現場にかかわるという思いを重ね合わせて、協同のための法人で養豚を継続することになりました。

この1月よりいろいろな事を整理しながら、準備をすすめてきました。交配の元となる血統を純系に入れ結える過程で2ヶ月供給をお休みさせて頂き、組合員の意向に「待つて頂く」ことをお願いしましたが、この4月より合同会社(わんぱくじょうそう合同会社)としてスタートします。組合員みなさんがよく見守ってくださいます。(2ページへ)

岩瀬弘さんと卓子さんの代表は、岩瀬卓子さん、(常総生協代表)と村山さん、(常総生協代表)の2名は、常総生協の常務理事(佐)

岩瀬卓子さんと村山さん、(常総生協代表)の2名は、常総生協の常務理事(佐)

2017 年度総代会 (6/11) に向けて「地区別組合員懇談会」がはじまります！

詳しくは別チラシで各地区日程を。ぜひご参加ください！

【2017年3月の予定】

●生産者支援・地域活動・集し●

3.29 (土) 第11回理事会

4.4 (水) 午前 山本先生(常総生協)

4.4 (水) 午後 飯沼先生(常総生協)

●提携・協同・連携企画●

4.1 (土) 午前 甲子園(常総生協)

4.1 (土) 午後 常総生協(常総生協)

4.15 (土) 甲子園(常総生協)

なり、牧場再建に向けて大きな一歩を踏み出せることになりました。

しかし、現状の岩瀬牧場（わんぱくじょうそう）とミートパル村山との枝肉取引価格は20年間据え置き状態で、20年前と比べると燃料、賃金、資材の高騰で、現状では採算が取れない状況です。生協としても2年前から価格交渉と、値上げをして組合員みなさまに継続利用していただくのが可能かどうかも含めて議論してきました。しかし「養豚（一次産業）の採算がとれない状況ではいけない」根本問題や、常総生協の中期計画【生産と消費の関係づくり】も踏まえると、現状をお伝えして、組合員のみなさまに理解と、協力をもらうことが大切だという結論になり、値上げをお願いする次第です。

○値上げ価格の状況

◇岩瀬さんの豚肉 価格一覧表

商品名	現在		値上げ後	
	規格	税込価格	規格	税込価格
ローススライス	250g	¥670	200g	¥698
ロースしゃぶしゃぶ用	300g	¥848	200g	¥698
ロースしょうが焼用	250g	¥691	200g	¥698
ロース切身(2枚)	200g	¥556	200g	¥698
肩ローススライス	250g	¥605	200g	¥698
モモスライス	250g	¥481	200g	¥562
モモしゃぶしゃぶ用	250g	¥513	200g	¥562
モモ一口カツ用	250g	¥502	200g	¥562
バラスライス	250g	¥459	200g	¥568
小間切れ	150g×2	¥432	150g×2	¥616
挽肉	300g	¥432	300g	¥616

※3月3回からカタログ本誌ではなく別チラシでの掲載に変更します。

○わんぱくじょうそう合同会社としての経営方針

今回、急な値上げのお願いとなり大変申し訳ございません。今回の値上げで組合員の皆様からの注文数が残念ながら減少することも見越して、**生協以外の外部への販売も実施し、採算の取れる経営をしていく方針です。**今後も引き続き、ご利用をよろしくお願い申し上げます。

（文責：常総生協 専務理事 伊藤博久／わんぱくじょうそう・代表 柿崎洋・代表 岩瀬卓子）

2020年2月3日(月) 常総生協本部組合員室 13時半～16時 組合員7人参加。

★委員会に先立ちDVD「終の住処を奪われて」を視聴しました。福島原発事故の集団訴訟をしている方のドキュメンタリーです。貸し出しDVDにも入っているので是非ご覧ください。

★2/5(水)に東海第二原発の近隣6市村の首長に再稼働反対を求める署名目録を県へ提出に行きました。県知事と面談したかったのですが、対応は原子力対策安全課職員2名でした。

★委員会では、脱原発活動を続けるとともに暮らし見直し活動を検討中です。生協のカタログや注文用紙の回収、プラスチック袋のリサイクルなどについて意見交換しました。組合員の皆様もご提案やご意見をお寄せください。

○生協からの呼びかけ

供給で使用している通い箱、商品案内ケースなどは組合員みんなの共有の財産です。雨に当たったり、汚れないように保管してください。また、汚れたら洗って、返却していただけますよう、よろしくお願い致します。



▽再利用、返却をお願いしているもの

通い箱、商品案内ケース	雨に当たったり汚れないような所での保管をお願いします。汚れた場合は洗って乾かしてからお返してください。
蓄冷剤	直射日光に当たると劣化が早くなりますので、通い箱に入れた状態でお返してください。
商品カタログ	使用済みの商品カタログは生協で回収しています。注文書提出時に通い袋の中に入れて出して下さい。 <u>※古紙リサイクルしています。</u>
牛乳パック	中を洗って、広げて乾かしてお返してください。 <u>※トイレットペーパーにリサイクルされます。</u>
鈴木牧場のヨーグルトビン・蓋	フタの中敷きのみ取って、洗って、乾かしてお返してください。
鈴木牧場牛乳ビン	フタは取って、洗って、乾かして下さい。
卵パック	「生産者カード」(小さな紙)がはいっていますので取り除いてお返してください。

★次回は、2020年3/4(水)13時半～16時(生協本部)の予定です。
委員会はどなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽にお越しください。